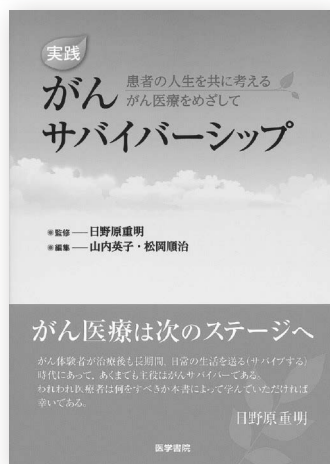




実践 がんサバイバーシップ

患者の人生を共に考えるがん医療をめざして

日野原重明＝監修

山内英子、松岡順治＝編

本体 3,500 円＋税／A5 判・256 頁／医学書院／2014

がん治療の発展に伴い、がんは不治の病でなく「慢性疾患」ととらえられるようになってきた。つまり治療効果のみでなく、その患者自身の人生を共に考え、医療に組み入れて実践していくことが求められている。本書では、がんサバイバーシップとは何か、各職種に求められるサバイバーへの具体的な関わり方、知っておきたい患者会の活動などを、経験豊富な医療者、アクティブに活動されている関係者が解説。